

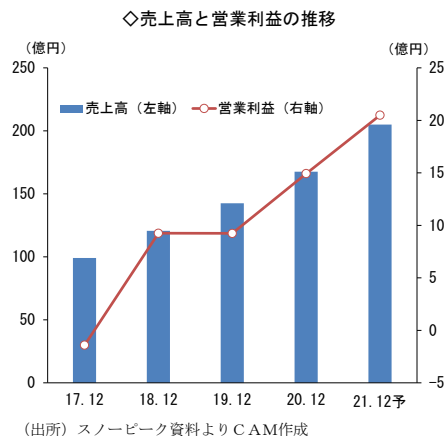
企業ニュース スノーピーク

(東証1部: 7816) <http://www.snowpeak.co.jp/>

作成者: 高見澤晶子

ハイエンドのキャンプ用品メーカー

高品質・高価格のキャンプ用品メーカー。自社でキャンプ場の運営も行っている。米国、韓国、台湾、英国に直営店舗を有するなど、海外展開も進めている。20. 12期の海外売上高比率は20%。近年、国内ではキャンプの人気が高まりつつあったが、コロナ禍で密にならないレジャーに関心が集まったことでその人気は加速、参加者が急増している。キャンプを含む国内のアウトドア市場の広がりには当面続くとみられ、キャンプ用品メーカーとして認知度の高い当社は恩恵を受けよう。また、海外でも同様にキャンプ需要が拡大しており、海外の売上成長も期待できよう。2021～2023年度の中期経営計画では、最終年度に売上高290億円、営業利益40億円、海外売上高比率30%を目指す。



キャンプ需要の高まりで21. 12期は良好なスタート

21. 12期・第1四半期(1-3月)の連結業績は、売上高が50億円、前年同期比63%増、営業利益が6億円、同140倍。第1四半期はキャンプのオフシーズンに当たるため例年はスロースタートとなるが、今期は冬シーズンのキャンプ参加者の増加や、シーズンに向けた早期の購買が寄与し良好なスタートとなった。海外もすべての地域で増収を達成、コロナ禍の影響が大きい地域でもECを中心に販売は好調だった。

21. 12期の通期会社計画は、売上高が205億円、前期比22%増、営業利益が21億円、同37%増。通期計画に対する第1四半期の進捗率は売上高25%、営業利益27%と、例年と比較して好発進。さらに4、5月の売上高はコロナ禍前の2019年度の水準を上回り、足元も好調な推移が続いている。今回会社は計画を据え置いたが、販売動向を踏まえると上振れが期待できよう。主力商品の1つであるテントやタープは入門用のエントリー商品が好調、新規顧客の獲得が進んでいる。今後はリピート購入率の向上策やキャンプ需要拡大に対応した商品供給体制の強化に取り組む。

[株価動向・投資判断]

国内外でのキャンプ需要拡大が追い風となり、売上増が期待できよう。海外の成長余地は大きく、中長期的な業績拡大に寄与しよう。

<7816 スノーピーク 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期利益 | 1株利益 | 1株配当 |
|----------|--------------|-------------|-------------|--------------|------|-------|
| | 百万円 (伸び率) | 百万円 (伸び率) | 百万円 (伸び率) | 百万円 (伸び率) | 円 | 円 |
| 19. 12 | 14,260 (18) | 924 (0) | 962 (9) | 425 (▲ 11) | 26.9 | 12.50 |
| 20. 12 | 16,764 (18) | 1,493 (62) | 1,551 (61) | 1,048 (147) | 56.3 | 12.50 |
| 21. 12 予 | 20,500 (22) | 2,050 (37) | 2,040 (32) | 1,144 (9) | 60.7 | 12.50 |



| [主要株価指標] (売買単位: 100株) | |
|-----------------------|-------------------|
| 株価 (2021/6/25) | 3,230 円 |
| 年初来高値 (高値日) | 4,280 円 (21/5/10) |
| 同 安値 (安値日) | 1,684 円 (21/1/13) |
| 予想 P E R (21. 12 予) | 53. 2 倍 |
| 1株株主資本 (PBR算出用) | 584. 8 円 |
| P B R | 5. 52 倍 |
| 予想配当利回り | 0. 39 % |
| (1株当たり配当金年12. 50円) | |
| R O E (20. 12) | 11. 0 % |
| 発行済み株式数 | 1,907 万株 |